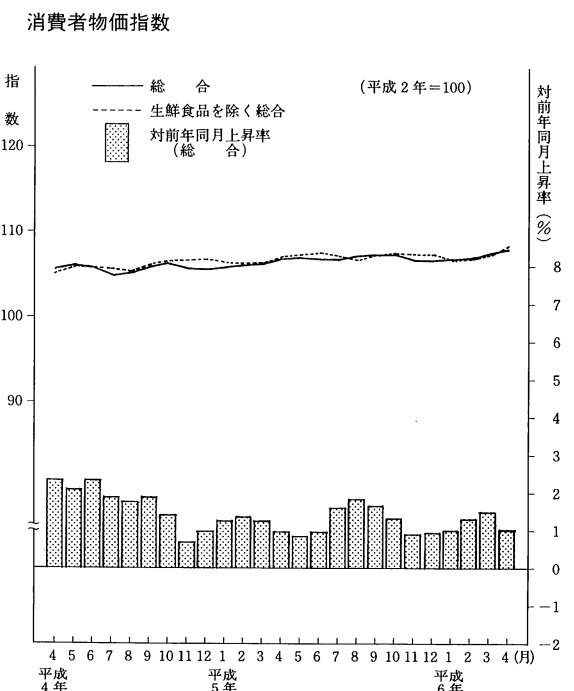
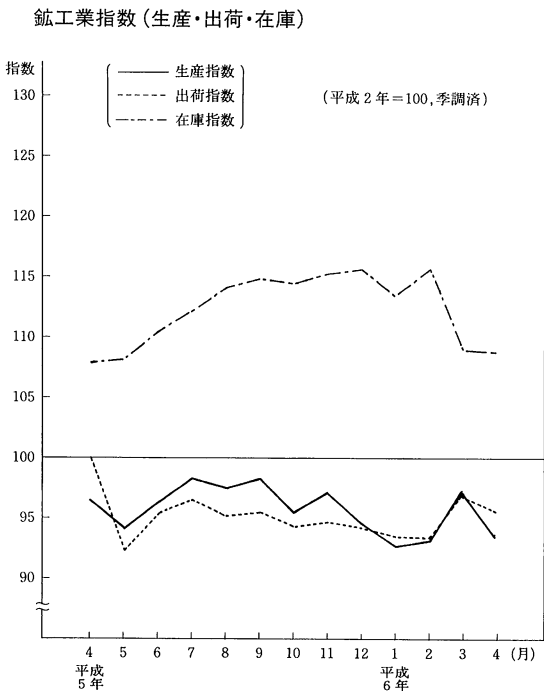
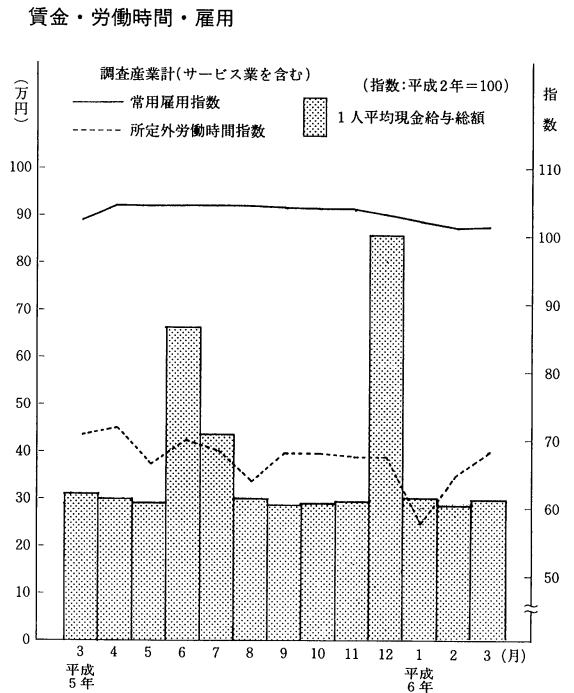
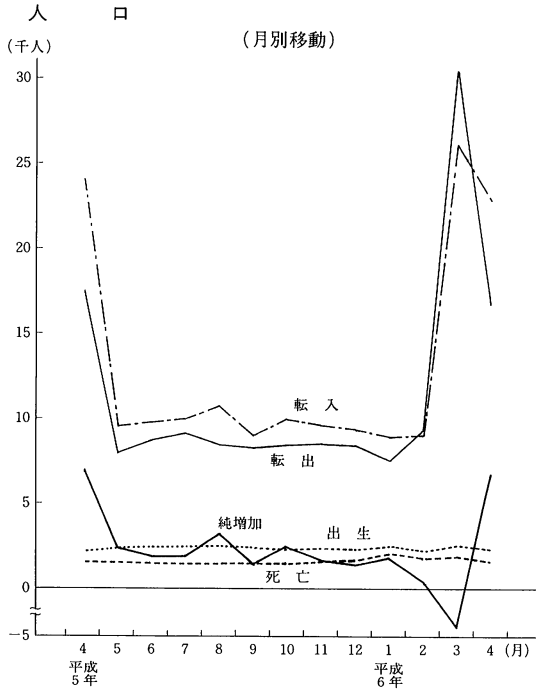


● 今月の主な動き

今月の主な動き



主な動きのあらまし…………… 企画部 統計課

■ 人 口 (5月1日)

本県の人口は、4月中に6,724人増加し、5月1日現在で、2,937,212人(男1,468,575人、女1,468,637人)となった。
内訳は、自然動態で653人(出生2,237人、死亡1,584人)増加し、社会動態で6,071人(転入22,909人、転出16,838人)増加した。前年同月と比べると21,595人(0.74%)の増

加である。

市町村別では、増加が15市38町村、減少が5市25町村、増減なしが4村である。

世帯数についても4月中に、7,206世帯増加し905,267世帯となった。

■ 賃金・労働時間・雇用 (3月)

1. 平均賃金の推移

3月の現金給与総額は、調査産業計で317,798円、対前年同月比1.0%減、このうち、きままって支給する給与は290,506円、対前年同月比0.5%増であった。また、このうち、所定内給与は265,464円、対前年同月比1.1%増であり、超過労働給与は25,042円、対前年同月比5.3%減であった。
なお、物価上昇分を差し引いた実質賃金は、対前年同月比1.5%減であった。

※この地方調査の結果は事業所規模30人以上です。なお、事業所規模5人以上の結果についての問合せにも応じます。

2. 労働時間

3月の総実労働時間は、調査産業計で161.1時間、対前年同月比1.3%減であった。このうち、所定内労働時間は147.8時間、対前年同月比1.1%減、所定外労働時間は13.3時間、対前年同月比3.5%減であった。

3. 雇用の動き

3月の雇用の動きを常用雇用指数によってみると、対前年同月比0.8%減であった。

■ 鉱工業指数〈生産・出荷・在庫〉 (4月)

本県における平成6年4月の“鉱工業指数”(平成2年=100)は、季節調整済指数で、生産が93.7、出荷が95.8、在庫が108.8で、前月比は、生産が3.6%の低下、出荷が1.1%の低下、在庫が0.2%の低下であった。

前年同月比(原指数)は、生産が3.1%の低下、出荷が4.3%の低下、在庫が0.6%の上昇であった。

業種別に前月比をみると生産では、化学工業、金属製品工業、石油・石炭製品工業等が上昇し、電気機械工業、一般機械工業、非鉄金属工業等が低下した。出荷では、一般機械工業、パルプ・紙・紙加工品工業、鉱業等が上昇し、

鉄鋼業、電気機械工業、食料品・たばこ工業等が低下した。在庫では、石油・石炭製品工業、鉄鋼業、金属製品工業等が上昇し、精密機械工業、輸送機械工業、その他工業等が低下した。

特殊分類別にみると生産では、その他用生産財、建設財等が上昇し、資本財、耐久消費財等が低下した。出荷では、その他用生産財、建設財が上昇し、非耐久消費財、鉱工業用生産財が低下した。在庫では、その他用生産財、鉱工業用生産財等が上昇し、耐久消費財、資本財等が低下した。

■ 消費者物価指数 (4月)

平成6年4月の茨城県消費者物価指数(県平均)は、総合で107.8(平成2年=100)となり、前月比0.3%の上昇、前年同月比1.1%の上昇となった。

今月の上がった主な項目……シャツ・下着11.1%、補習教育5.2%、上下水道料4.3%、授業料等3.4%、飲料2.4%、魚介類2.3%

今月の下がった主な項目……果物12.1%、野菜・海藻10.7%、乳卵類1.3%、菓子類1.1%

生鮮食品を除く総合は108.1となり、前月比は0.8%の上

昇、前年同月比は1.1%の上昇となった。

費目別指数

(平成2年=100)

区 分	指数	上昇率(%)		区 分	指数	上昇率(%)	
		対前月	対前年同			対前月	対前年同
総 合	107.8	0.3	1.1	保健医療	103.0	0.9	0.2
食 料	107.8	△1.5	1.3	交通通信	99.5	△0.2	△1.0
住 居	114.6	0.6	2.2	教 育	114.0	3.5	3.8
光熱・水道	102.7	0.9	△0.5	教養娯楽	109.8	0.2	0.7
家具・家事用品	100.3	0.6	△1.4	諸 雑 費	104.3	0.2	0.2
被服及び履物	112.8	3.2	2.5	生鮮食品を除く総合	108.1	0.8	1.1